

供給圧の最小値 100psi (7.0kg/cm <sup>2</sup> )
-----------------------------------------

Model 466-250

### はじめに

エレクトロニック・コントロールユニットはポンプへ供給する圧縮空気を調整するものです。加圧 (Drive) 及び排気 (Vent) はポンプを稼働させるため、交互に作動させます。加圧時は、水がサンプリングチューブの中で圧を受けポンプからチューブを伝わって揚がってきます。排気の際は圧が開放され、水がポンプの中に入ります。加圧と排気のサイクルは、マニュアルと既存にセットされたものの 2 通りから選ぶことができます。また、コントローラーへ掛けられる圧の最大値は 250psi (17.6kg/cm<sup>2</sup>) までです。

- ・ 既存にセットされているサイクルは、1.66 インチ × 2 フィートの Integra Bladder Pump (Solinst 社製 Model 407) 用に設定されています。
- ・ Integra Bladder Pump 以外のポンプを使用する際の調整方法は以下に示します。
- ・ 揚水する際、幾つかのサイクルを試し、必要に応じて設定値を調整します。

### 準備

- ・ コントロールユニットにはオイルフィルターが常備されています。フィルターケースのラベル部分まで色が変わってきた際は、フィルターの交換時期になります。
  - ・ すべての準備が整うまで圧をかけないでください。
  - ・ 以下のステップ 3 に行くまでに、一通りマニュアルに目を通しましょう。
1. オイルフィルターのついたサプライラインを、コントロールパネル上の『Air In』に接続します。また、ラインの反対側をコンプレッサーのような圧縮空気の供給源に接続します。
  2. コントロールパネル上の『Air Out』とリール上の『Drive Line』をエアホースで繋ぎます。
  3. コントロールパネル上のレギュレーターを 200psi

(14.0kg/cm<sup>2</sup>) 以下にセットします。

### コントローラーのセットアップ

- ・ コントロールユニットは単 3 電池を 8 本使用します。バッテリーの交換は、コントローラー上にセットされたボックスを 5/32 インチの六角レンチを用いて外して行います。
- ・ 緑色の“Menu”ボタンを押して電源を入れます。LCD のスクリーン上に“WAKEUP WAIT”と表示されます。その際、電池の残量をチェックし、スクリーンに表示されます。電池の残量が 50% 以下の場合には交換の時期になります。
- ・ OFF スイッチはありません。“Standby”モードに切り替えてしばらく使用しないと、自動的に電源が落ちます。

### LCD スクリーンについて

ポンプの稼働時間 (Drive time) と排気時間 (Vent time) は、秒で表示されます。“Run/Standby”スイッチを“Run”にセットすると、コントロールユニットが稼働し始めます。また、“Standby”側にセットした際は、ポンプは稼働せず、時間表示のスクリーンは Drive と Vent の設定状態になります。

“Run/Standby”スイッチを  
“Run”にセットした際、  
Drive または Vent のどちらが稼働しているかを表示します。

Drv	3.0s
Vnt	3.0s

### 時間の合わせ方

稼働時間 (Drive time) と排気時間 (Vent time) は、“Timer Adjustment rotary dial”を用いて変更ことができます。

**稼働 (Drive) 時間を変える方法:** “Select”ボタンを押した状態で、“Timer Adjustment rotary dial”を時計方向に回すと稼働時間 (Drive time) が増加しま

発売元: 株式会社ランドコンサルジュ

〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-11 多町高久ビル 3F  
電話: 03-6674-0963 FAX: 03-5256-1062

す。また、逆に反時計回りに回すと減少します。稼働時間は 0.3 秒から 162 秒の間で変更可能です。

**排気 (Vent) 時間を変える方法:** 時計方向に “Timer Adjustment rotary dial” を回すと排気時間 (Vent time) が増加します。また、逆に反時計回りに回すと減少します。排気時間は同じく 0.3 秒から 162 秒の間で変更可能です。

### 流量の調整

ポンプの稼働サイクルを設定後、“Flow Regulator” を用いて、流量の調整を行います。流量を下げるには、レバーを反時計回りに回します。逆に流量を上げるには、時計回りに回します。

### ポンプサイクルの選定

LCD 上にサブメニューを表示するには、まず “Menu” ボタンを押します。次に “Select” ボタンを押すと、以下の順にサブメニューが表示されます。

- ・ Sel. Last Setting (最後に使用した設定を表示)
- ・ Manual Drive (マニュアルによる稼働)
- ・ Sel. Fast 2 L/mn
- ・ Sel. High 1.5 L/mn
- ・ Sel. Med 1.0 L/mn
- ・ Sel. Low 0.5L/mn
- ・ Sel. Slow 0.1 L/mn

#### Sel. Last Setting Screen

最後に使用した設定を表示します。当設定を使用する場合は “Select” ボタンを押してください。

#### Manual Drive Screen

当モードで “Select” ボタンを押すと排気 (Vent) と稼働 (Drive) が切替ります。ポンプを稼働させるには “Run/Standby” スイッチを “Run” にセットして下さい。

#### オートマチック・ドライブモードの設定

下記に示したようにスクリーンに、初期設定された流

速が表示されます。“Menu” ボタンを繰り返し押すことによって、サブメニューが順に表示されます。初期設定の流速を表示すると、あとは “Select” ボタンを押すことによって流速を選択することができます。その際、Drive times (稼働時間) と Vent times (排気時間) は秒で表示されます。設定したレートでポンプを始めるには、“Run/Standby” スイッチを “Run” にセットします。流速を上げる場合は “Flow Regulator” を時計方向に、下げる場合は反時計方向に回します。

- ・ Sel. Fast 2 L/mn
- ・ Sel. Low 0.5L/mn
- ・ Sel. High 1.5 L/mn
- ・ Sel. Slow 0.1 L/mn
- ・ Sel. Med 1.0 L/mn

### 最適化

始めに、初期設定画面において希望の流速に設定します。その後、“Flow Regulator” を用いて希望の流速になるように微調整を行います。より高い流速を必要とする際は、流速を上げるためにゆっくりと Drive time (稼働時間) を上げていきます。空気が抜ける場合は、Drive time (稼働時間) を下げます。流速を迅速に設定するためには、流速が一番早くなるまで Drive time (稼働時間) を増加または減少させます。



発売元: 株式会社ランドコンサルジュ

〒101-0046 東京都千代田区神田多町 2-11 多町高久ビル 3F

電話: 03-6674-0963 FAX: 03-5256-1062